

専修大学社会科学研究所月報 総目録

(1972. 2. (No. 101)~1976. 12. (No. 159))

- | | |
|--|--|
| No. 101. 道標 (月報100号を祝って)
西欧におけるベンチャー・キャピタリズム (研究ノート) | 学長 相馬 勝夫
中村秀一郎 |
| No. 102. 石川理之助ノート (1) (研究ノート)
ソ連学界印象記 (同上) | 長 幸男
玉垣 良典 |
| No. 103. 北九州における鉄鋼業と関連下請企業の実態調査報告 (特定研究《産業構造変革》特集—7)
大友福夫・三輪芳郎・西岡幸泰・共編 | |
| No. 104. 「知識産業の発展」とは何か——その歴史主義的解釈の試み—— (研究ノート)
ニューヨークからの便り (1) | 吉家 清次
西田 勲 |
| No. 105. 中華ソビエト共和国憲法大綱をめぐる若干の資料的検討—附 訳文 (資料紹介) | 宮坂 宏 |
| No. 106. ニューヨークからの便り (2) (書簡) | 西田 勲 |
| No. 107. 戦後の入会権学説の動揺について (研究ノート) | 西川 善介 |
| No. 108. 経営学の課題——社会科学における経営学の市民権—— (研究ノート)
イギリスの旅・ソ連の旅 (2) ——第5回国際経済史会議に出席して—— | 斉藤 高志
加藤幸三郎 |
| No. 109. 裁判例を通してみた農地相続の諸相 (特定研究《産業構造変革》特集 8)
職業訓練と憲法26条・教育基本法 (同上) | 泉 久雄
佐々木 享 |
| No. 110. 日本の農業・農法形態——比較体制論的意識の下で—— (研究ノート)
円再切上げ問題と財政政策 (同上) | 石渡 貞雄
青木 信治 |
| No. 111. 減税の経済的効果 (研究ノート)
単純交換経済におけるコアの収束について (同上) | 森下 健三
伊東 洋三 |
| No. 112. 晏陽初 Y・C・James Yen という人物 (研究ノート)
不動産仲介業者の報酬請求権 (同上)
港湾争議と労使関係法 (1) (同上) | 斉藤 秋男
山崎 悠基
近藤 享一 |
| No. 113. ロンドン便り (1) (書簡)
ハンガリー便り (1) (同上)
道路における社会的費用の経済分析 (研究ノート)
生活優先財政展開の基礎調査 (調査報告) | 吉沢 芳樹
池田 博行
蔵下 勝行
青木 信治 |
| No. 114. 森川善美雄君の死を痛恨する——断章—— (故森川喜美雄所員追悼号)
大学院時代の森川さん (同上)
森川さんの業績をしのぶ (同上)
故森川喜美雄君を悼む (同上)
ハゼ釣り (同上)
森川喜美雄論文目録 (同上)
森川喜美雄略年譜 (同上) | 江沢 譲爾
内田 義彦
細見 英
望月 清司
森下 健三 |
| No. 115. 工場誘致と地方自治体——鹿島臨海工業地帯の視察調査報告—— (特定研究《産業構造変革》特集—9)
鹿島臨海工業地帯造成の戦后段階的性格 (同上) | 宮田 三郎
島崎美代子 |
| No. 116. マネジメント・システムにおける情報要求の識別問題 (研究ノート)
ソ連における若干の経済成長理論 (同上) | 稲川 和男
平館 利雄 |
| No. 117. 「英雄都市」レニングラードのエネルギ―とその源泉 (研究ノート)
技術発展の方向 (同上) | 梶井 義雄
大西 勝明 |

- No. 118. 『利潤』、それに現代経済学は答えうるか (研究ノート) 吉家 清次
- No. 119. アメリカの保守主義 (その I) —— スペイン内乱をめぐる —— (研究ノート) 大西 洋三
 スバルタクス蜂起・ベトナム戦争・民主主義 (同上) 土井 正興
- No. 120. ブルームフィールド教授の重農主義研究 (研究ノート) 小林 龍馬
 ロンドン便り (2) 吉沢 芳樹
- No. 121. ECONOMIE POLITIQUE について (研究ノート) 木崎喜代治
 ハンガリー便り (2) 池田 博行
- No. 122. 社会主義工業化の二つのモデル (研究ノート) 宮下誠一郎
- No. 123. 悲劇の鉄道王シュトロウスベルグ (研究ノート) 池田 博行
 H. W. Richardson, "Regional Growth Theory." (書評) 黒田 彰三
- No. 124. 証券取引動機としての投資と投機 (研究ノート) 津村 英文
- No. 125. 医療社会化論における自由開業医制の規定について (研究ノート) 西岡 幸泰
- No. 126. 現代中国研究の動向 (研究ノート) 野原 四郎
- No. 127. アメリカの保守主義 (その II) —— スペイン内乱をめぐる —— (研究ノート) 大西 洋三
- No. 128. 余りにも誇り高く (セーチェニー伯爵小伝) (研究ノート) 池田 博行
- No. 129. 故雪山慶正教授を悼む (追悼号) 江沢 譲爾
 雪山慶正さんの業績 (同上) 西田 勲
 雪山さんの著訳書 (同上)
- No. 130. ユーゴスラビアでの学習 (研究ノート) 平館 利雄
 いわゆる「高度成長」下における未組織労働者の堆積 (同上) 加藤 佑治
- No. 131. 根無し草の韓国経済——現地訪問の記 山田 一郎
 わが国金融制度における分業主義の変遷 (研究ノート) 麻島 昭一
- No. 132. プロセインにおける鉄道政策—フォン・デル・ハイトを中心に— (研究ノート) 池田 博行
- No. 133. 現代資本主義社会における金問題—ミハレフスキーの産金の地理学を中心に— (研究ノート) 小林 龍馬
- No. 134. 1910年代——20年代における日本資本主義の重化学工業化に関する一つの素描 (研究ノート) 泉 武夫
- No. 135. 社会科学研究所の歩み——開会の辞にかえて—— (創立25周年記念第 I 部学術講演) 大友 福夫
 社会科学としての政治学の発足 (同上) 福島 新吾
 市民社会の歴史理論と現代 (同上) 望月 清次
- No. 136. お祝いの言葉 (創立25周年記念第 II 部記念パーティー) 相馬 勝夫
 創立当初の「社研」について——「神話時代」の謎を解く—— (同上) 森下 澄男
 旧社研の思い出など (同上) 小林 義雄
 再発足の頃をかえりみて (同上) 長 幸雄
 反パーフェクションニズムの旗のもとに——私と『社研月報』—— (同上) 望月 清次
 「神話時代」の社研と私 (同上) 真保潤一郎
 自発的な研究会としての社研 (同上) 斉藤 仁
 勝手気ままな話 (同上) 野原 四郎
- No. 137. 江沢さんの死 (故江沢譲爾所長追悼号) 大友 福夫
 江沢所長を偲ぶ (同上) 相馬 勝夫
 江沢さんの私像 (同上) 高橋七五三
 弔辞 (同上) 高橋長太郎
 恩師・故江沢譲爾教授の思い出 (同上) 平川 東亜
 弔辞 (同上) 青木外志夫
 江沢先生曰く「君は犬が好きか」 (同上) 西岡 久雄

- 略歴および著作目録 (同上) 黒田 彰三
- No. 138. イギリスとアメリカ、最初の300年 (上) —— アメリカ独立革命開始200周年によせて —— (研究ノート) 西田 勲
中華ソビエト共和国土地法 —— 資料紹介 (同上) 宮坂 宏
- No. 139. 戦後における化学工業構造の変革と公害 —— 特に農業工業構造を中心として —— (研究ノート) 青木 弘明
- No. 140. マプリのフィジオクラート批判 (研究ノート) 木崎喜代治
- No. 141. 現代資本主義と現代社会主義試論 (一) *petite et accipietis, puerite et invenietis, pulsate et aperietur vobis.* (研究ノート) 石渡 貞雄
- No. 142. 石油化学コンビナートと地域開発 (研究ノート) 大西 勝明
- No. 143. 現代資本主義と現代社会主義試論 (二) *arbor dum crescit, lignum cum crescere nescit.* (研究ノート) 石渡 貞雄
- No. 144. 中国での社会科学交流 —— 1975年夏の旅から —— 齊藤 秋男
- No. 145. 現代資本主義と現代社会主義試論 (三) *quae philosophia fuit, facta philologia est.* (研究ノート) 石渡 貞雄
- No. 146. 理想主義の報酬 — ジェイソン・ガーニィ著『スペインの十字軍』(研究ノート) 大西 洋三
- No. 147. 現代マルクス主義の諸傾向 E. J. ホプズボーム (特別講演) —— (吉沢芳樹 訳)
- No. 148. 『経済学批判要綱』の編集問題 (研究ノート) 内田 弘
- No. 149. SDRの価値と国際取引 —— 標準バスケットをめぐる諸問題に関する研究ノート —— (研究ノート) 鈴木 浩治
- No. 150. 平館利雄教授退職に寄せて 大友 福夫
私のソ連研究史の一齣 平館 利雄
- No. 151. 永別の辞 (小林良正先生への永別の辞) 相馬 勝夫
五十年の学友であり心の友の故小林良正君を偲ぶ 平野義太郎
日本とドイツ民主共和国との友好のために尽された功績について 宇佐美誠次郎
お別れのことば 望月 清次
小林先生の思い出 森下 澄男
小林良正先生略年譜・著作目録 泉 武夫
- No. 152. 岩手南部のたたら跡について (研究ノート) 黒岩 俊郎
ケルン「経済政策研究所」の人びと —— 西ドイツ留学記 (1) 玉垣 良典
- No. 153. ミーク『社会科学と下等な未開人』(紹介) 木崎喜代治
ドイツ鉄道政策史におけるプロイセントゥームについて —— 第一次世界戦争時の鉄道 —— (研究資料) 池田 博行
- No. 154. 京浜工業地帯と地方自治体 (「産業構造変革」実態調査記録) 「中堅製鉄所」室蘭を見て (同上)
- No. 155. ティエールにおける所有権と租税 —— 『所有権について』(1848年)を中心に —— (研究ノート) 木崎喜代治
- No. 156. 西ドイツ・コンツェルンの経営支配機構 (研究ノート) 山田 一郎
- No. 157. “英国病”におけるモラルと政策 —— スマイルスとホプソンとクロスランド —— (論文) 長 幸男
- No. 158. 「企業の理論」に関する覚書 (研究ノート) 水川 侑
- No. 159. 小農と国民的統合 —— アジア・北アフリカ人文科学会議出席記 —— (研究ノート) 古島 敏雄